



飛鶴の森林から

第66号

当ふれあいセンターは、国有林をフィールドとして北海道の多様な自然との共生に向けた自然再生活動に取り込む NPO 等の活動支援、森林環境教育等に携わる教育関係者の支援・技術指導等を行っています。

パイロットフォレストで教員初任者研修を支援

7月31日（火）、北海道教育庁釧路教育局が実施する初任者研修がパイロットフォレストで行われました。この研修は「野外における諸活動の指導方法の基礎を学習し、今後の教育活動の充実に役立てる」ことを目的としています。研修には、今年度釧路管内で新しく教員（小・中・高・養護学校）に採用された48名の皆さんが参加されました。

この研修の支援に当たっては、参加者数が多いことから、当センターと根釧西部森林管理署から流域管理調整官、標茶及び真竜の各森林官が協力して体験プログラムを準備して取り組みました。

体験プログラムには、①望楼からパイロットフォレスト・カラマツ林の見学、②遊歩道を使用した森林環境教育プログラムの実施方法、③ネイチャーゲ

ーム「カモフラージュ」を準備し、各グループに分かれて体験しました。

「カモフラージュ」では、歩道沿いの森の中に隠された人工物をいくつ見つけ出すことができるかというゲームを行い観察力、動物の擬態、保護色などについて学び身近な生き物の知識や不思議を知り、興味を持ってもらうことを目的として行いました。

全体活動では、さらに森の生き物に興味を持って観察を行っていただくため、ネイチャーゲーム「コウモリとガ」を実施しながら、コウモリの生態についても勉強しました。

この研修が契機となり、近い将来、子供たちの環境学習につなげてもらえる先生が一人でも多く現れることを祈り、支援プログラムを終了しました。

望楼からパイロットフォレスト・カラマツ林の見学



遊歩道を利用した森林の学習



カモフラージュ：森林の中に隠された人工物を真剣に探す参加者

→
ネイチャーゲーム
←



コウモリとガ：目隠しをした人がコウモリの役でガの役の人をつかまえます。

「すてきなドアプレート！」

親子木工教室

8月5日(日)、釧路市こども遊学館が夏休み期間中に行った親子木工教室に講師を派遣し、北海道の郷土樹種であるトドマツの板を土台にした「ドアプレート作り」を行いました。

当日は、釧路市こども遊学館が募集した小学生とその親19組が参加し、初めて使うノコギリに苦労しながら、松ぼっくり、木の輪切り、小枝等の「森林からの贈り物」を使い飾り付けを行いました。開始から約3時間、作業終了時には参加した親子全組が完成させ、自然素材で作った大切なドアプレートを笑顔で持ち帰りました。

親子での共同作業は、夏休みの楽しい1日となったことと思います。



完成したドアプレート



←「お母さん
しっかり押さえてよ！」

完成したドアプレート↓



↓「森林からの贈り物」で飾り付け ↓



中茶安別小中学校 夏の「るんるんフォレスト活動！」



8月21日(火)、標茶町立中茶安別小中学校夏の学校林活動「るんるんフォレスト」が全校児童生徒30人が出席して行われ、当センター職員と森林管理署標茶首席森林官・真竜森林官は講師として参加しました。

動物がどこにいるかなあ ↓

初めに、「動物は、森林の中でどう見えるのか?」「小動物が敵に襲われない工夫」を、自動撮影カメラで撮影した写真などを使い、擬態・保護色の学習を行いました。つぎに各班(3班)に分かれて、森林の中に隠された人工物をいくつ探し出せるかネイチャーゲーム「カモフラージュ」を行い観察力を更に高めました。



いくつ見つかるかなあ「カモフラージュ」 ↑

その後、樹木の種子(タネ)について学習を行い、中学生は、秋の学校林活動で使用する種子を集めるための「シードトラップ」の設置を行いました。また、小学生は学校の体育館に



↑ 学校林の中のタネの学習

今回の活動では「学校林内外で目にする、生き物の生きる知恵・工夫を実感する。」ことをポイントに実施しました。

↓ 中学生によるシードトラップの設置



風に乗って飛ぶタネの実験 ↑

釧路湿原森林環境保全ふれあいセンター

〒085-0825 釧路市千歳町6-11

TEL 0154-44-0533 FAX 0154-41-7305

URL http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html

E-mail h_kusiro_f@rinya.maff.go.jp